

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成28年度)

2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ②ライフ・イノベーション分野(3/12)

	評価区分(※)	総合評価 (IとIIとIIIを1:1:2の割合で計算)	I	II	III	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
			目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
さがみロボット産業特区 (神奈川県)	正	4.0	4.0 進捗度 ・特区発ロボットの商品化状況 150% ・実証実験等の実施件数 200% ・ロボット関連事業所の集積割合 54%	3.9 規制の特例等 ・医療機器製造販売承認等の手続の円滑化 等 財政支援等 ・生活支援ロボットの实証実験等の実施 等 地域独自の取組 ・「インベスト神奈川」等による企業誘致の促進 等	4.0	<p>・特区発の生活支援ロボットについて、開発・実証実験のみならず商品化が着実に進み、災害対応、遠隔診断から介護支援まで多様な成果を生み出していることは評価できる。</p> <p>・承認手続きや、利用拡大、実証実験等の実施などの多岐に渡って、国との協議によって現時点で実現可能なことを明らかにし、多様な支援策で事業展開を速めたことは高く評価できる。</p> <p>・最大の課題は競合地区の多い首都圏においてロボット関連産業の誘致であろう。研究者や企業(大手、ベンチャー)に対して他地区にないインセンティブを提供する必要がある。また、地域の成果をアピールすることで企業誘致に結び付けられるよう、一層の工夫・努力が必要である。</p>

※「正」とは平成28年3月末までに計画が認定された地区の評価、「準」とは平成28年3月末時点では計画が認定されていない地区の評価を意味する。